

議会運営委員会 研修報告

7月23日から25日まで、議会運営委員6名と正副議長の計8名で議会運営方法などを研修するため、神奈川県逗子市議会と山梨県甲斐市議会を訪問しました。

研修の結果、山武市と両市とは、議会運営について多少違いがありました。

逗子市では、提案（付託）されている条例や予算等について、あらゆる角度から質疑し、問題がないかを時間をかけて審議を行うことが良い点でした。

また、甲斐市での議長の諮問機関として議会の活性化



逗子市議会視察研修(議場)



甲斐市議会視察研修

化などを検討する、議会活性化研究会なども参考になりました。

今回参加した議会運営委員会の委員も、選良の者として、市民の付託に応えるためにも、議員一人ひとりのさらなる能力向上と自覚が必要だということを再度確認し合い、良いところは今後の議会で活かしていきたいと思えます。

最後に、多忙中にもかかわらず快く受け入れをし、ご指導をいただいた逗子市議会、甲斐市議会、両市議会の関係者の方々に深く感謝し研修報告といたします。

宮崎県川南町議会 行政視察

7月3日に宮崎県川南町議会産業建設常任委員5名が、水道事業についての行政視察のため来庁しました。

当日は、椎名市長、遠藤議長の歓迎の挨拶の後、場所を水道課会議室に移動し、水道課職員より水道事業の経緯、水質、加入状況、施設などについて詳細な説明を行いました。



山武浄水場を視察する川南町議会議員

川南町の近隣の町村は、水道事業が個々に違うため合併した場合の運営方法など課題もあり、今後も先進地を視察し参考にしたいと話され、川南町議会の視察研修は終了しました。

石川県能美市議会 行政視察

7月4日に石川県能美市議会統合庁舎検討特別委員7名が、市役所業務の本庁方式についての研修のため来庁しました。

山武市が総合支所方式から今年度、本庁方式に切り替えをした経緯やメリット・デメリットについて、市長、総務部長より説明を行いました。



説明を受ける能美市議会議員

能美市は合併後、総合支所方式で業務をする中、今後新庁舎建設計画や業務統一など検討・改善をしなければならぬ課題を他市の事例を参考にしながら市政に役立てたいと話され、能美市議会の研修は終了しました。

議会広報研究会



県内の市町村議会を対象とした議会広報研究会が、7月18日に千葉市内で開催され、山武市議会では、議会だより編集委員と事務局職員が参加しました。とても有意義な研究会でこれらの紙面づくりに生かしていきたいと思えます。

内容は、講師の城市創氏（しやういち はじめ）により、「議会だより編集のポイント」について、議会だより発行の意義や市広報との違い、わかりやすい文章の書き方など、2町の議会報を使い、写真やレイアウト、文字の使い方など、良い点・悪い点を挙げ、細かく丁寧にご指導いただきました。